



# 地球大学アドバンス 第34回

[TOKYO SHIFT シリーズ 第6回]

## 気候変動時代の防災都市デザインを考える

2010.9.13 mon

世界的に洪水や干ばつ等のリスクが増大する中で、特に大人口を抱えた脆弱な巨大都市のありかたが問われています。気候変化(Climate Change)に伴う気象現象の極端化、海面上昇のリスクなどを考慮すれば、20世紀までの安定した気候を前提に立案されてきた防災対策や社会インフラは抜本的な見直しをせざるを得ません。

とりわけ沿岸・下流域に位置する世界の多くの大都市と並んで、大河の河口を意味する「江戸」=TOKYOの治水・防災ビジョンは、改めて「百年の計」で構想し直すべき時期に来ています。ゼロメートル地帯の東京東部はもとより、江戸期以来の埋め立て造成地であり、地下に金融系のITシステムなど巨大インフラをもつ丸の内・大手町も、日本の心臓部として特にその脆弱性を考慮する必要があります。ダムや堤防など20世紀型の巨大インフラだけに頼らない、総合的かつ地域・流域的な特性に応じた柔軟な治水ビジョンの構築が求められます。

一方、日本の降雨はモンスーンアジアのグローバルな水循環の一環であり、その意味で抜本的な洪水予測・治水対策の確立には、アジア大陸や太平洋・インド洋まで視野に入れた水循環シミュレーションとリアルタイムの観測、そして流域毎の地形や社会インフラを考慮した総合的なアプローチが必要になります。

今回はこうしたグローバルとローカルを視野に入れた新時代の治水研究の第一人者である小池先生をお招きし、今年度の「地球大学」のテーマである「TOKYO SHIFT」(=21世紀TOKYOのリデザイン)の重要な柱として、東京と日本の治水・防災デザインを「地球目線」で考えたいと思います。

### 開催概要

日時:2010年9月13日(月) 18:30~20:30

ゲスト:小池 俊雄 氏

(東京大学大学院 工学系研究科

社会基盤学専攻 河川/流域環境研究室 教授)

企画・司会:竹村 真一 氏

Earth Literacy Program 代表

エコツェリア・コンテンツプロデューサー

会場:新丸ビル10階「エコツェリア」

地図:<http://ecozeria.jp/access.htm>

定員:50名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)

参加方法:事前登録が必要です

事前登録URL <http://www.ecozeria.jp/earth/>

参加費:エコツェリア会員企業に所属の方:無料

\*名刺にて照会いたします。名刺(社員証)を必ずご持参下さい。

エコツェリア会員企業非所属の方:有料2,000円

プログラム 18:00 受付開始/18:30 開演/20:30 閉会